

支援対象競技会：Blackpool Dance Festival 2019

出場部門：OVER50 ボールルーム

松村健樹 栄子組

全英選手権は私達は 1994 年にアマオープンに初めて挑戦して、その後 1999 年と 2000 年にシニアスタンダードに出場（セミファイナル）、そして 2016 年に新たに開設された OVER50 に再び挑戦。準優勝の成績を残すことができ、一年おいて昨年も出場、そして今年も挑戦することに致しました。

昨年は、前日入りで体調もよくなく、予選から足がつり出したので、今年は万全の体制で臨もうと 3 日



前から現地入りのフライトを予約しておりました。ところが 4 月になって栄子の叙勲瑞宝章の受賞が突然決まり、皇居での天皇陛下拝謁式がなん

と前日の金曜日になってしまいました。それはそれでとても名誉なことなのですが、全英を諦めざるを得ないかなと考えていたところ、その日の夜羽田発でマンチェスターに競技当日の朝に到着するフライト

があることを知り、無謀ではありますが思い切って挑戦することにしました。

<叙勲受賞式にて>

栄子の叙勲受賞は、長年の看護功勞によるもので、皇居での拝謁式はとても厳かなものでした。そ



の日の夜羽田から立ち、マンチェスターに降りたのは競技当日の朝 8 時半、タクシーを飛ばして、ホテルに入ったのは 10 : 00

でした。すでに一次予選は始まっている時間ですが、私達は昨年決勝に入れたので、シードがつき、夜の予選の 17 : 00 からスタートです。飛行機ではわりとぐっすりと眠れたので、体調は良かったのですが、さすがに疲れは残っています。

一昨年、昨年に引き続きなんとか決勝に残ることができたのですが、結果としては 6 位でした。クレージーなスケジュールで無理矢理出場したにもかかわらず決勝に残れただけでもラッキーだったと思います。

見て頂いていた先生方によると、疲れはみえ、準決勝の方がよかったとのことでした。課題としては、滑らかな大きなムーブメントと、正確なフットワークと理解しました。

全英ではシニアやOVER50においてもやはり中国の選手が昨年よりも増えてきており、最終予選では 1/3 が中国選手でした。優勝の組はシニアファイナリストからの転向組であり、長年の実績があるようです。



り、そろそろここで、修了とするか今二人で考えているところです。振り返ってみると私達のダンスライフは練習、試合が常に仕事との狭間にあり、スケジュール調整が綱渡りの連続でした。今回もまさにそうってしまったのですが、それがハンデを背負

ったアマチュアの宿命であり私達の運命だなどつくづく思いました。



最後になりましたが、今回支援を頂きました JDC 様、及びジャパンアマチュアリーグの皆様に感謝申し上げます。

来年はどうするかですが、シードもついているので、再挑戦するか、それとも年齢もあ